



奈良県立奈良養護学校



プロフィール

奈良県立奈良養護学校は、上肢・下肢・体幹に障害のある児童生徒、知的障害、病虚弱の障害が重複する児童生徒のための学校です。小学部・中学部・高等部(普通科)の課程があり、個々に応じた教育を行っています。

平成24年度からは、奈良東養護学校より病弱教育部門のうち施設内訪問教育(バンビ教室、バルツァ・ゴードル教室)が本校に移管され肢病併置の特別支援学校となりました。

また、平成28年度をもって整肢園分校が閉校となり、新たに病弱教育部門の施設内訪問教育として東大寺光明園教室が設置されました。

令和2年度より、奈良県北部の訪問教育(家庭)の拠点校となりました。



教育目標

[よりよく生きていける力を育てる]

一人ひとりの児童生徒が、自己の可能性を十分に伸ばし、社会の一員として明るく強く生き抜く力を身につける。このため、

- ①自己の障害を正しく認識し、機能の改善と体力の向上に努め、明るくたくましく生きる力をつける。
- ②根気強く学業に励む習慣をつけ、自ら考える力を伸ばし、自主的で創造性に富む人間となる。
- ③視野を広め、社会性を養い、相互の人格を尊重し、協力しあう、豊かな人間性を培う。

校訓



〒630-8051 奈良市七条町135番地

電話 0742-34-2671・2672

FAX 0742-33-9459

E-Mail info039@nps.ed.jp

ウェブサイト <http://www.e-net.nara.jp/sns/narayougo/>

